



美馬ロータリークラブ週報

11月22日 火曜日

Vol.512

例会出席者 13名 (会員数26名)

出席率 50.0%

メーカーアップ 森会長

修正出席率53.8%

■会長挨拶(矢野会長エレクト)

森会長、川田副会長ともに欠席のために私が会長挨拶を代行させていただきます。今日は元気を出していきましょう。トランプ氏が大統領選挙に勝ちまして二週間経ちましたがまだ興奮冷めやらずという感じです。アメリカの格差社会の中の虐げられた人たちが変革を求めての結果と言われています。日本でもテレビを見ても中にはカップヌードル一つで過ごす子供が紹介され、あるお寺のお坊さんが恵まれない子供にお供え物をあげるなど放送されていました。日本は恵まれているイメージですがそうとも言えない状況の人もあります。我々ロータリアンは恵まれた環境であるといえ子供たちに希望を与えるようなことができないかと常々思います。年末が迫ってくる中このようなことを考える日々です。皆さんも一緒に考えてみましょう。

■幹事報告

◇到着週報 阿波池田 RC 鴨島 RC 脇町RC

◇連絡事項 財団より寄付による表彰バナーをいただいています。地区大会で表彰いただけるそうです。

アトランタで開催される世界大会の申し込みが来ています

■卓話 社会員「鶏について」

今日はラジオの収録に行ってきました。ラジオといえども緊張しました。その時も鶏の話をしましたので今回も話させていただこうと思います。鶏は大きく分けまして卵を産む鶏と肉をとる鶏、二つに分かれます。これは親の段階から違っています。これが始まったのが昭和の40年代ぐらいからです。鶏の種類から違います。アメリカから入ったブロイラーというものです。非常に成長が早いです。日本で飼われているブロイラーは7億羽です。弊社は1000万羽ぐらいですので全国の1.5%ぐらいになります。先だつては工場見学いただきありがとうございました。あの工場で1日多い時で4万羽ぐらいです。夏場は3万2000羽ぐらいになります。それが全国の1.5%ですからいかに消費が多いかわかるといえます。ブロイラーは生まれるために卵をとるのですが、卵として食べる卵とは違い、親鳥の種類も違います。種鶏といわれますがオスは5キロ、メスは少し小さく2.5キロぐらいの大きさです。ここで気を付けるのはメスにカロリーを与えすぎると産卵率が落ちてしまいます。当然ヒヨコになるわけですから有精卵でなければいけません。卵として食べるものは無精卵です。オス一匹に対してメスが大体10匹ぐらいの割合です。鶏の飼い方は鶏舎を建てヒヨコから温度湿度を管理して成長させていきます。40gのヒヨコが一週間ぐらいで200gになるといい飼い方といえます。最初の一週間の成長が少ないとその後もあんまり成長しません。成長すると鶏舎の温度を下げ、親の羽に代わる頃が大体28日ぐらい過ぎてですが、その頃はさらに温度湿度の管理が難しくなります。鶏の飼育に最適なのが秋か冬です。夏は気温が高いため冷やす方法がなく、鶏の場合汗が出ませんので口を開けて冷やすことができないので体温が高くなりすぎてしまいます。エアコンを使うわけにはいかないので扇風機を使い、さらに水を振りかけないと鶏がまいってしまいます。冬になると暖房の燃料問題もあり難しいです。それが鶏の飼い方です。今まではブロイラーについて、今度は阿波尾鶏について話します。阿波尾鶏は地鶏の認定をとっています。農水省が決めた基準に合ったものでなければいけません。明治以前に日本に定着した鶏の血液が半分以上なければいけません。阿波尾鶏の場合は徳島に昔からいた軍鶏を片親にしています。一坪33羽という使用平均をクリアしなければいけません。ブロイラーと比べますと弊社で一坪50羽、全国で一番多いところで70羽入れています。その基準からいえば半分ぐらいです。ゲージ飼いではなく平飼いといわれる飼い方で、70日以上飼う、それが阿波尾鶏の飼い方になります。保管場所も分けていなければいけません。飼い方について話をさせていただきました。また機会があれば肉にする方の話をさせていただけたらと思います。

■ニコニコ

社会員「ラジオの収録をしてきました。今度の日曜日放送です。阿波紳士録です」廣川幹事「ゴルフコンペで優勝しました」

次回例会

2016年11月29日(火)18:30から

プログラム

卓話 田中義美会員

欠席 青木茂生会員 青木博美会員 川田会員 北室会員 澤田会員 田中会員 田村会員 林会員
藤田会員 松浦会員 三好会員 森会長 山内会員

☆欠席の会員はメーカーアップをお願いします。次回例会に欠席の会員は、出席委員長までご連絡をお願いします。